

□ プログラム (A4版両面、三つ折り)

プログラム

11:30	開 場
12:30	演 奏 北海道警察音楽隊
13:00	開 会 主催者あいさつ 内閣府 北海道 札幌市 来賓紹介
13:20	基調講演 平澤 匡介 (独)土木研究所寒地土木研究所 寒地交通チーム主任研究員
14:05	休 憩
14:20	パネルディスカッション 【コーディネーター】 溝端 光雄 (首都大学東京 大学院 客員教授) 【パネリスト】 大矢 雅彦 (北海道警察本部交通部 交通企画課調査官(事故分析)) 田中 雅美 (スポーツコメンテーター 北海道出身) 萩原 亨 (北海道大学・大学院 公共政策学連携研究部 教授) 平澤 匡介 (独)土木研究所寒地土木研究所 寒地交通チーム主任研究員 藤川 達夫 (財)日本自動車研究所 主席研究員
16:10	閉 会

会場案内

かでの2・7 かでのホール
札幌市中央区北2条西7丁目

かでの2・7周辺案内図

■会場の有料駐車場には台数に制限がございますので、公共交通機関をご利用をご案内下さい。

交通アクセス

- JR札幌駅 徒歩12分
- 地下鉄利用の場合
さっぽろ駅(10番出口)..... 徒歩7分
大通駅(2番出口)..... 徒歩9分
西11丁目駅(4番出口)..... 徒歩10分
- バス利用の場合
JRバス北1条西7丁目(停留所)..... 徒歩3分
中央バス北1条西7丁目(停留所)..... 徒歩3分

お問い合わせ

内閣府/政策統括官(共生社会政策担当)
交通安全啓発担当
TEL 03-5253-2111(内)44205
北海道/北海道環境生活部くらし安全局 くらし安全推進課
TEL 011-204-5219
札幌市/札幌市市民まちづくり局 地域振興部 区政課(交通安全担当課)
TEL 011-211-2252

平成22年度 交通安全フォーラム

冬の交通事故の減少を目指して

— 積雪期における交通安全を考える —

開催日 平成22年11月16日(火)
12:30~16:10(開場11:30)

開催地 かでの2・7 かでのホール
札幌市中央区北2条西7丁目

定員500名 定員にのみ応募、受付を終了いたします
お申込は下記まで
北海道環境生活部くらし安全局 くらし安全推進課
TEL:011-204-5219 FAX:011-232-4820
E-mail:kansai_kurashiaoz@pref.hokkaido.lg.jp

入場無料

主催/内閣府・北海道・札幌市

開催の趣旨

国の重要施策及び北海道が実施する交通安全対策上の諸問題を踏まえて、交通安全に関する学識経験者等の専門家による研究発表、討議等を実施し、もって交通事故防止のための有効適切な提言を得て、国民の交通安全意識の高揚を図ることを目的とする。

後援

警察庁
文部科学省
厚生労働省
国土交通省

協賛

交通安全シンポジウム推進協議会構成団体
(社)日本自動車工業会
(財)全日本交通安全協会
(社)日本自動車連盟
(公財)三井住友海上福祉財団
(財)国際交通安全学会
(財)日本交通安全教育普及協会

基調講演

平澤 匡介 / (独)土木研究所寒地土木研究所
寒地交通チーム主任研究員

1989年(昭61) 宮城工業大学土木学科卒。北海道警察音楽隊指揮、旧土木試験所道路研究室(現(独)土木研究所寒地土木研究所)、寒地開発建設部、旧建設省土木研究所(5研究室を経て現在)に在る。論文20年(平16)には「国交省の事故分析と対策手法に関する研究」を学術論文として、宮城工業大学より博士(工学)の学位授与。技術士(建設部門)、主な論文:「正面衝突事故対策としてのランクルストップの改善効果等について」(2002年(平16)国土交通省国土地技術革新研究活用部門優秀発表賞)

パネルディスカッション

【コーディネーター】
溝端 光雄 / 首都大学東京(旧: 都立保健科学大学)大学院 客員教授
自由学園高等学校 非常勤講師

1977年(昭52) 慶應大学大学院工学研究科土木工学専攻修了。岡大助手を経て、1995年(平7) 東京都老人総合研究所(現: 東京都健康長寿医療センター)研究部長。2009年(平21) 4月より現職。専門は交通工学、都市計画学、老年学で、国や自治体の政策研究の委員なども務める。論文20年(平16)には「高齢者から人へのやさしい交通環境」の整備に関する研究に從事。主な業績として、「新幹線システム工学」(共著)、山海堂刊、1998年(交通企画課賞)、『高齢ドライバーと高齢歩行者の交通特性について』、IAISS-Review, Vol.18, No.1, pp.49-57、1999年(国際交通安全学論文賞受賞)、『高齢性老人のためのやさしい住まい』、ワールドプランニング、1999年刊、『クルマと社会』、デザイン、建築出版会、2004年刊] などがある。

【パネリスト】
大矢 雅彦 / 北海道警察本部交通部
交通企画課調査官(事故分析)

交通企画課調査官兼対策統括官、指導取締課長、前道庁警務部警務課交通課副課長等を歴任し、平成22年4月より現職。
昨年度内の交通事故による犠牲者は218人。交通事故による死者数をピークであった昭和46年の899人の4分の1以下まで減少している。
今後、更なる交通事故死者数の減少のため、交通事故の発生時間、経緯、事故の形態、更に季節ごとの交通事故の特徴などを詳細に分析し、その結果に基づき、高齢者対策、交通安全対策の推進を推進しているとともに、多くの道民に交通事故の実態と事実に基づいた適切な対策等を適切に提供している。

田中 雅美 / スポーツコメンテーター

北海道出身。1994年(平6)、日本選手権で100mと200mの平泳ぎで2冠を達成。翌1995年(平7)の同大会では、100m平泳ぎで11年ぶりの日本記録を更新し、注目を集める。その後、アトランタシドニー、アテネオリンピックに競泳日本代表として出場。2000年(平12) 競泳のシドニーオリンピックでは、女子400mメドレーリレーで大学の先輩2人を含むチームで銅メダルを獲得。現職は、スポーツコメンテーターとして活動し、水泳講師としても全国で活躍している。現在、TBSの「みんなの朝スナック」、フジテレビ「知りたがり」にコメンテーターとして出演中。

萩原 亨 / 北海道大学・大学院
公共政策学連携研究部 教授

1984年(昭58) 3月北海道大学大学院工学研究科土木工学専攻修了。
同年4月北海道大学工学部助手。1993年4月北海道大学工学部助教授。2009年(平21)4月北海道大学大学院公共政策学連携研究部専任教授。2010(平22)年5月より現職。
専門は、道路交通安全に関する研究、ドライバーのヒューマンファクターに関する研究など。現在の社会的活動: (社)道路管理技術センター 道路管理技術員会幹事、札幌市交通安全市民協会の幹事、札幌市交通安全市民協会の幹事、(社)日本道路学会理事など。

平澤 匡介 / (独)土木研究所寒地土木研究所
寒地交通チーム主任研究員
(基調講演に同じ)

藤川 達夫 / (財)日本自動車研究所主席研究員
博士(工学)

1982(昭57) 専攻工業大学工学研究科博士課程修了。その後、(財)日本自動車研究所に勤務。タイヤ工学を中心に自動車安全、エネルギー・環境の研究に従事。2004年(平16)より、同研究所、交通安全研究部部長に就任。プロシエ・クワッド博士号取得で現任に至る。
発表・論文には、「タイヤの駆動輪荷重を支配する路面凹凸(パスマーク)」(2003)(共著)、「小学生を対象とした交通安全教育手法の特許」(2008)(共著)、「ITSによるクルマの交通安全一研究の視座からの取り組み」(2008) などがある。